

問8 自由記述について（概要版）

皆さんからいただいた意見で最も多かったのは、経済的・心理的な支援の拡充、休暇を取得する際の周囲の理解（キャリアに影響しない状況づくり）の浸透を図るべき、これらの複合的な支援が必要という意見でした。

**【行政の経済的、金銭、施設、物資支援】**

家庭への出産養育に関する経済的支援
医療費補助又は無償化
教育費無償化
ひとり親に対する医療保障
出産育児期の雇用の安定
地域差のない施設の充実
保育施設の充実
図書館や公園といった公共施設の充実
子育て世帯への物資支援
外国に倣う制度拡充（育休取得中の金銭補助、未就学児の無償育児、学費無償化）

**【企業努力による心理的援助】**

男性が育児関連休暇を取りやすい職場環境の充実
地域や企業による妊婦及び子育て世帯対象の福祉厚生制度の発信
出産後に勤務し続けられる職場環境づくり
働き方改革の促進による子育て世帯の自由時間の増大

**【子育て関連サービスの充実】**

子育て支援センターによる悩み相談環境づくりの充実 （子育ての不安、出産するかどうか、自分の生き立ちについて）
子どもの預かり強化（早朝対応、待機児童解消、子の体調不良時）
保育の質の向上
家事代行サービスの充実
病児保育サービスの充実

**【社会の協力】**

地域で子育てを協力する仕組みづくり
独身を対象とした子どもに対する親近感の増幅
子育て世帯と地域住民の交流機会の増加
ひとり親に対する差別偏見の解消

**【広報の強化】**

少子化の進行による影響の広報
行政の実施政策の広報の拡大

【その他】

データ分析

結婚支援の強化